

一般社団法人 日本サンライフ終身身元保証協会(青森県/身元保証サポート事業等)

**高齢者の
身元保証
承ります**

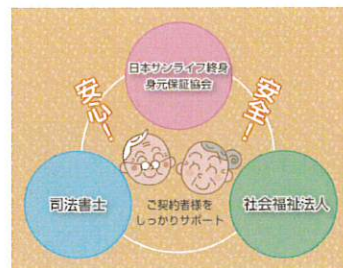
**身元保証人の請け負いサービスで
安心・安全な暮らしをサポート!**

身寄りのない高齢者などが、老人ホームや介護施設、病院などを利用する際の身元保証人の請け負いを中心に、幅広いサービスを展開する一般社団法人日本サンライフ終身身元保証協会。社会福祉法人などとも連携しながら、今後も高齢者とその家族、施設や地域社会に貢献していく。

主に高齢者を対象として、老人ホームや介護施設、病院などの施設を利用する際の身元保証を引き受ける「身元保証サポート」を中心に、利用者の生前の意思に基づいた葬送儀式を行なう「葬送支援サポート」、預貯金などの財産管理や事務手続きを行なう「財産管理サポート」などのサービスを展開している「日本サンライフ終身身元保証協会」。理事長の田中圭氏は、父が理事長を務め、自身も運営に携わる「社会福祉法人道友会」での経験を活かすべく、2013年に同協会を設立した。

「道友会で有料老人ホームやデイサービスセンターなどを運営するなかで、高齢者の方に対して、介護保険や医療保険などの公的サービスではカバーしきれない部分もサポートしたいとの思いが募ったことが、当協会設立の契機です。また、身寄りがいかなかったり、いたとしても疎遠だったりする方の場合、緊急時に施設や病院からご家族に連絡しご判断を仰ぐことができず、処置や治療が滞ってしまうケースが少なくありません。当協会がご契約者さまの身元保証人になることで、ご契約者さまはもちろん、施設や病院の負担を軽減することができます。社会福祉法人や行政書士、司法書士などと連携しながら、ご契約者さまやそのご家族はもちろん、施設や病院、地域の方に貢献できればと思っています」

同協会が提供するサービスに対するニーズは高く、設立以来、1000件を超える



同協会では、司法書士や社会福祉法人などと連携しながら、利用者の安心・安全な暮らしを生涯にわたりサポートしている

えるさまさまな相談が寄せられていると語る田中氏。今後は、料金を十分に支払う余裕のない方を支援するための仕組みづくりに、注力していく考えだ。

「現状は、ケースバイケースで対応させていたのですが、今後は新たな料金システムを構築することで、一層、広くご利用いただき、ひとりきりで本当に困っている方を、さらに支援することができるサービスを育てていきたいと思っています」

これからは田中氏は、同協会の活動とおして、高齢者と家族、そして地域社会に貢献していくことだろう。

このようなケースの方は、ぜひ一度ご相談ください。

- おひとり様の方。
- ご家族・ご親戚が近くにいない、疎遠になっている。
- お知り合い、お友達の高齢者を保証人に考えている。



身寄りのない方や、家族や親戚が近くにいない、もしくは疎遠となっている方、知人の高齢者を保証人とすべく検討している方などに、「身元保証サポート」を提供している

私たちが身元保証人となり
高齢者の方の安心・安全な
生活をサポートいたします。

理事長 田中 圭



一般社団法人 日本サンライフ終身身元保証協会

所在地 ■青森県八戸市青葉3-29-19

T E L ■0120-116-561

U R L ■http://www.maru-navi.net/sunlife/

設 立 ■2013年

従業員 ■5名

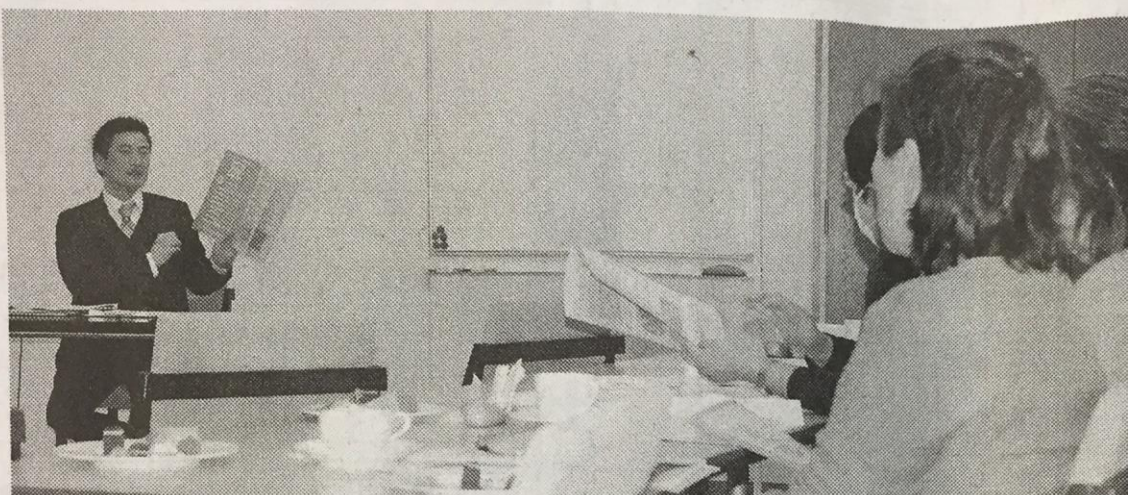
PHILOSOPHY ● 理念

公的なサービスである介護保険や医療保険などが適用される範囲を超えた、一層ご利用者に寄り添った幅広いサポートを行なう。当協会が提供するインフォーマルなサービスが、公的なサービスへの橋渡しの役割を担うものにしていく。

POLICY ● 方針

裁判所が指定するご本人の代弁者である「後見人」と、ご家族の代わりとなり、ご本人を保証する第三者である「身元保証人」の違いを発信することで、「身元保証人」の必要性を正しく理解していただき、ご利用していただく。

田中圭理事長（左）から
身元保証サポートなどの
説明を受ける参加者



十和田

身元保証人サポートとは 老後の安心 考えよう

市民20人、制度学ぶ

高齢社会における老後の安心を考えようと、日本サンライフ終身身元保証協会の田中圭理事長を招いた懇話会が22日、十和田市の十和田倶楽部で行われ、身元保証人サポート制度などについて理解を深めた。

少子高齢化により、親族が身近におらず、施設入所などに必

要な身元保証人の確保が難しいケースが増えていることから、老後の不安解消のためにと、同市の冷水キヌさんらが懇話会を企画し、市民約20人が参加した。

田中さんは、サポートの流れや平均的な費用を説明。「サポートがあること自体まだ浸透していない。家族の代理として、その人に合った方法を提案するので気軽に相談してほしい」と呼び掛けた。

参加者からは、後見人との違いやサポートに関する詳しい内容といった質問が次々出された。（佐藤航）

身元保証 NPO頼み

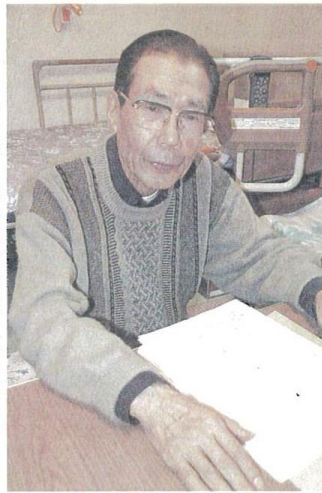
施設入所、入院 身近に親族いなくて…

とが背景にあるという。親族に迷惑を掛けたくないと気兼ねし、NPOに保証人を頼む高齢者も少なくないとの声もある。
(菊谷賢)

福祉施設入所時や入院時の身元保証人を、親族ではなく、NPO法人などの団体に頼むケースが県内で増えている。少子高齢化によって頼れる親族が身近にいないというこ

県内で依頼増加 疎遠、高齢、「遠慮」も理由

葬儀やお墓の生前契約を 青森（青森市、川嶋勝美理 2001年から行ってきた 理事長）は10月から、身元保証 NPO法人ライフサポート 証支援サービス事業を開始



ライフサポート青森の身元保証支援を受けて 有料老人ホームに入居した川口さん。「支援を受けて不安や心配が軽減された」青森市

した。「兄弟がいても高齢になって身元保証人を頼めない」といった相談が最近増えてきたからだという。身元保証支援では、施設の入所、入院の同意、医師との協議、手術立ち会いなど24時間体制で生涯にわたってサポートする。最初に必要な費用は、契約金、身元保証料のほか、緊急時支援、見守りなどの生活支料を含め約60万円。

同法人が11月10日に同市で開催したセミナー「身元保証と終活支援」では、市



ライフサポート青森が開いたセミナー。参加者は、身元保証支援を受けて施設に入居した事例などに聴き入った10日、青森市

施設・病院 保証人が条件 「緊急連絡先を確保」

福祉関係者によると、県内の福祉施設や病院の多くが、身元保証人の確保を入所・入院の条件としている

という。青森市内の有料老人ホームの関係者は「容体急変時の緊急連絡先、死後の遺体引き取り先、利用料の未払い対応について、明確にしておきたい。身元保証人となる親戚や知人がいない場合は原則、お断りしている」と語る。

身元保証を行うNPOや団体が県内でまだまだ少ない現状で、ケアマネジャー（介護支援専門員）や、退院調整をする看護師、医療ソーシャルワーカーらが、高齢者の身元保証人を見つけるのに苦労するケースが

非常に多いといわれる。

弘前市のある救急病院長の主任看護師は「当院から他病院へ転院してもらう時、探偵のようにあらゆる情報をかき集めて、身元保証人を探さないとならない時がある」と語る。

地域づくりを考えるボランティア団体「ライフリンクとわだ」（十和田市）の事務局長でケアマネジャーの橋本博さんは「遠方の親族を探し、『迷惑を掛けないので保証人になってほしい』と頼むことがある」と話し「まったく身寄りがない人や、民間団体と契約できる経済力がない人は、施設に入所できないという最悪のケースも想定される。施設側も入

居の条件を緩やかにするなど、一層の配慮と柔軟な対応が必要となってくるのではないかと話した。

健生病院（弘前市）の堀川恵・地域連携室副室長は「元気がうちから身近な人とつながりを持ち、身元保証人になってもらえるような関係を築くのが現実的な方法ではないか」と指摘。一般社団法人権利擁護あお

い森ねっと（弘前市）の三上富士子代表理事は「三重県伊賀市では、市社協が身元保証人がいない人を支援する研究を行っている。本県でも地域全体の仕組みづくりが必要ではないか」と提言した。

(菊谷賢)

紙取材に「葬儀や永代供養など死後の支援も受けることになっていてるので不安や心配が軽減された」と話した。配偶者や子どもがいない「おひとりさま」を支援するNPO法人「SOLO（ソロ）」（青森市、佐々木恵美子理事長）では、将来の施設入所などに備えて身元保証契約を結んでいる人が現在6人、実際に身元保証人となって施設に入った人が1人いる。

同NPOの高島一美さん（51）は「近くに親族がいても迷惑を掛けたくない」と、身元保証をこちらに依頼するケースもある。身元保証は、私たちがおひとりさまにとっては、人ごとではない「関心事」と説明した。八戸市の一般社団法人日本サンライフ終身身元保証協会には、3年前の事業開始以来、県内外から相談・問い合わせが約300件あり、これまで数十件の契約が成立した。身元保証の初期費用は50万円前後で「首都圏の相場が100万円以上であるのと比べると格段に安い」（同協会という）。田中圭理事長は「家族と疎遠となっていたり、親族が高齢になったりして身元保証人が見つからないケースが増えている。高齢化の進展とともに、当協会の依頼は増えるだろう」と話した。